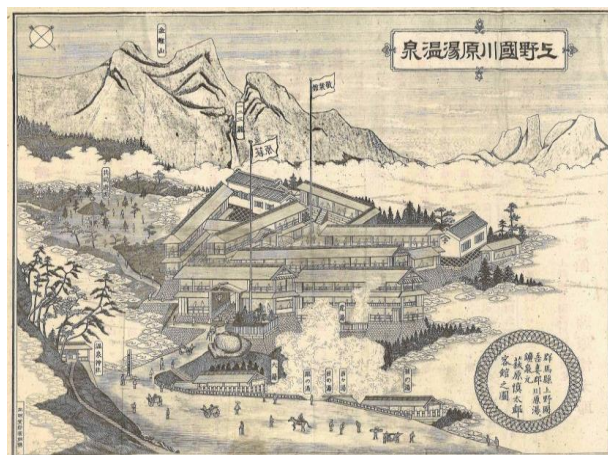
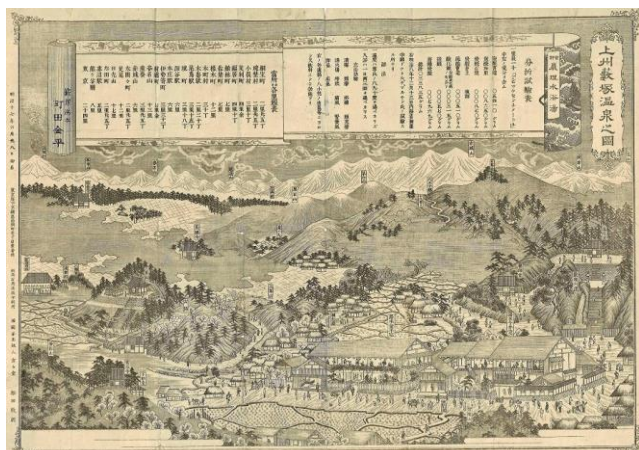
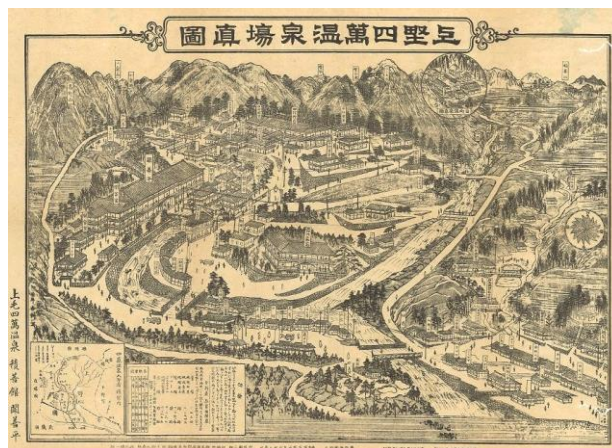


# 文書館だより

TEL 027 (221)2346

URL <https://www.archives.pref.gunma.jp>

第63号 令和元年 9月



上段：③上野国八塩野栗全圖 P8202 No.4442  
(縦 38cm×横 58cm)

下段：④上州敷塚温泉之圖 P9301 No.637-50  
(縦 29cm×横 43cm)

上段：①上野四万温泉場真圖 P8202 No.1535  
(縦 39cm×横 54cm)

下段：②上野国川原湯温泉 P8305 No.210-4  
(縦 27cm×横 37cm)

①～④の史料は、平成30年度に拡大パネルを製作しました。

④は明治17年(1884)の敷塚温泉の絵図です。絵図の上には、明治8年の分析試験表の他、入浴方法や効能、主要各地への距離が表示されています。

③は八塩温泉の絵図です。明治時代の様子を描いたものと推測され、3軒の大きな旅館を取り囲むように、寺社や製糸場など様々な建物が描かれています。絵図の右には、最澄の発願により建立された宝塔の一つで、寛文12年(1672)に再建された浄法寺の相輪塔(「相輪様」とも書き、現在は藤岡市の指定文化財)の位置が示されています。

②は川原湯温泉の旅館を描いた絵図です。「萩原」「敬業館」と旅館の名称を記した旗を高く掲げています。温泉街は平成26年に高台に移転しましたが、かつては吾妻川に沿って旅館が点在していました。

①は大正4年(1915)に印刷、発行された四万温泉の絵図です。電線が温泉地に張り巡らされています。また、当時は中之条から馬車が通っており、馬車や馬車会社の建物が描かれています。



**県民に開かれた文書館を目指して**  
館長 浅見英朗

今年の4月に群馬県立文書館長に着任しました浅見と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。文書館は昭和57年(1982)に開館して以来、県民の皆様のご理解とご支援により、館の事業・活動等を展開してまいりました。

そして5月に新しい「令和」の時代がスタートしましたが、「県民に開かれた文書館を目指す」を基本目標に掲げ、館収蔵の資料をより多くの皆様に利用していただけるよう、積極的にPRしてまいります。そのため、「デジタルデータの収集・整理・公開」「他の機関と連携した古文書講座、展示等の実施」「ホームページ等による情報発信の充実」に集中して取り組みます。

第1のデジタル化については、資料の利活用と保存の両面からデジタルデータの保存・蓄積を図ります。またデジタルデータ化についての保存・活用の指針を作成します。さらにインターネット上によるデジタルデータの提供や国立公文書館など関係機関との連携(データの横断検索)が可能なデジタルアーカイブの構築を目指します。

第2の他機関との連携については、県立図書館や市町村等と連携した講座・展示を実施していきます。当

館の古文書講座は県民の皆様の関心が高く、修了者は既に延べ4千人を超えています。今年度からさらに新規事業として、市町村と連携して「県立文書館 出張!古文書講座」を実施します。この講座は当館職員が県内市町村の郷土資料館等へ出向き、地域の古文書を用いた「古文書講座」と市町村職員による「展示解説会」等を行う事業です。第1回は沼田市で行い、地域の皆様に館収蔵資料をPRすることができました。また、新元号「令和」の典拠となった『万葉集』や「群馬の温泉」をテーマとした展示において、県立図書館と連携した企画を行っています。

第3のホームページについては、インターネットによる古文書講座等のほか、今年から館所蔵の国指定重要文化財の絵図をシリーズで紹介するほか、レファレンス相談事例を掲載します。さらにフェイスブックを活用した話題提供を積極的に行ってまいります。

現在、群馬県は公文書管理条例の制定に向け、動いています。このようなかで、文書館の歴史資料保存利用機関としての存在意義は、より一層高まってくるものと思われまます。今後とも、当館をこれまで以上に利用していただけるよう、取り組んでまいりたいと考えておりますので、県民の皆様には引き続きご理解とご支援をお願いいたします。

項目②では、本県を訪れる観光客

**令和元年度 テーマ展示**  
「いい湯だなあ〜」  
「ぐんまの温泉 今・昔」

8月3日から11月10日まで、標記のテーマ展示を開催しています。本県の温泉の魅力を再発見する企画として、NHKや群馬テレビのニュース番組でも取り上げていただきました。

文書館は、温泉関係の文書を多数収蔵しています。本展示では、主に明治から大正にかけての絵図や写真、公文書を取り上げました。また、昭和50年代の群馬の温泉を特集した「グラフぐんま」、そして観光パンフレットやホームページに掲載されている現在の写真を対比して展示しました。

展示項目は、①絵図で描かれた温泉地、②記録で見える温泉地のにぎわい、③温泉地への交通、④ぐんまの温泉 あれ・これ、とし、当館収蔵史料の中から38点を選びました。

項目①では、草津、伊香保をはじめとして温泉地を描いた絵図6点を壁に掛け、草津、伊香保、四万温泉の泉質や効能、内服の方法についてまとめた明治9年(1876)の「入浴者心得」を展示しました。「入浴者心得」は漢字に読み仮名が付けられていて、比較的読みやすいものとなっています。

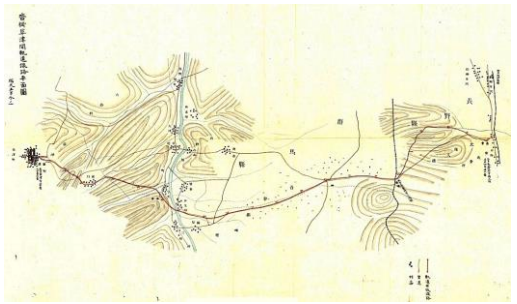
項目②では、本県を訪れる観光客

の多くが温泉地に足を運ぶとともに、温泉地を特徴づける名所旧跡も訪ねていることを踏まえ、当時の浴客数を記録した明治16年(1883)の文書と、石段の上に鎮座し、今も人々の信仰を集めている伊香保神社を描いた明治29年(1896)の文書を展示しました。

項目③では、四万温泉に向かう県道の整備に関する伺いや、軽井沢から草津温泉まで県境を越えて物資と人々を運んだ軽便鉄道の敷設申請書や路線図(写真)を紹介しています。

項目④では、明治6年(1873)の草津村と伊香保村の「壬申地券地引絵図(部分)や四万温泉を勧進元(主催者)として作成された大正4年(1915)の温泉番付など、温泉に関する多様な史料を選びました。

「群馬ブレイクステーションキヤンペーン連携展示」に引き続いて、県立図書館所蔵の温泉関係の郷土図書を閲覧室に展示し、1階ロビーには県



沓掛草津間軌道線路平面図 (A0384A0G No.756)

内各地域の温泉を取り上げた観光パンフレットを配布しています。ぜひご来館ください。

## 学校連携業務の報告

### ●前橋市立第五中学校

第五中学校1年生の139名(4クラス)が、7月4日に社会科(歴史的分野)の授業の一環として来館しました。当館では授業協力として、収蔵史料を活用した3つの学習活動をクラスごとに行いました。

1つめの学習活動は、展示室の郷土史料の紹介・解説でした。ここでは生徒にも親しみやすい、郷土の温泉・城郭の絵図をとりあげました。また、「令和」改元の典拠史料や、織田信長など著名な人物の古文書も紹介し、生徒の「歴史」への興味関心を高めました。テレビで取り上げられた改元に関する史料が、身近な施設で見られることに驚いている生徒もいました。

2つめの学習活動では、生徒たちの学校区を含んでいる江戸時代の絵図を活用しました。生徒たちは絵図にある古墳や道路などを手がかりに、学校周辺の今と昔の様子を比べ、普段見慣れている寺や道路、川などが、昔から変わらなずにあることに感心している様子も見られました。

3つめの学習活動では、江戸時代の上野国絵図(約5m四方)の原寸

大複製品(64分割の特殊マット)を活用しました。生徒たちは楽しそうに、特殊

マットの絵図を完成させ、完成した絵図の上に乗って当時の様子を詳しく観察しました。

様々な史料を活用した学習活動に楽しんで取り組む生徒たちの様子から、「歴史」に対する興味関心を高めることができたのではないかと感じています。当館では、小・中学校への授業協力を積極的に行っていきますので、ぜひご相談ください。

### ●前橋市立木瀬中学校

9月3日(火)から5日(木)までの3日間、木瀬中学校の第2学年の職場体験を実施しました。職場体験は、職業に対する見方や考え方を深め、勤労の尊さや意義を学ぶものです。

1日目は閲覧室の業務を体験しま



した。午前はまず利用券を作成してから、文書閲覧票を検索PCで作成し、出納作業を行いました。午後は明治6年の小屋原村絵図を用いて、木瀬中学校の位置を探したり、木瀬地区の土地の状況を調べたりして、デジタルアーカイブ・ビューアーの機能と特徴を理解しました。

2日目の主な活動は古文書の取り扱いでした。午前は古文書に付着しているホコリを払い、なかなか触れる機会の少ない和紙の状態を一枚一枚、慎重に確認してラベルを貼りました。午後は書庫で古文書を納める保存箱を組み立てました。

3日目はまず館内の温湿度を点検し、書庫の温湿度を一定に保つ大切さを学びました。次に書庫で公文書の排架作業を行い、文書の向きに気を付けながら、一冊ずつ収めました。午後は複製本にラベルを貼りました。

3日間、生徒は職員に文書館で働く楽しさや働きながら苦勞していること、働くために必要な資格などを質問して、文書館の仕事を広く知ることができました。



しさを働きながら苦勞していること、働くために必要な資格などを質問して、文書館の仕事を広く知ることができました。

### ●群馬県高等学校教育研究会図書部会(前橋地区)研修

7月23日(火)に約20名の先生方が参加されました。文書館職員による講座「古文書に親しむ」文書館の史料を使って地域を知る」が約50分間行われました。八木家文書を中心に織田信長・豊臣秀吉の文書を読み解し、八木家と萩原朔太郎との関わりなども紹介しました。その後、2班に分かれ約40分間、書庫・閲覧室・第1整理室を見学をしました。参加者の多くが国語科の先生や司書の方でしたが、閲覧室で壬申地券地引絵図を紹介するとほとんどの方が興味を持ち、全体日程終了後にも閲覧室の仕方次第では、社会科・地歴科の先生以外にも文書館の史料に関心を持っていただく可能性があることがわかる良い機会となりました。





**ご存知ですか？文書館のfacebook（フェイスブック）**

当館ホームページの右上に、爽やかな青色のバナーボタンがあります。これが当館のfacebook（フェイスブック）の入り口です。

フェイスブックは、様々な人とのコミュニケーションを可能とする、インターネット上のサービスの一つです。コミュニケーションとありますが、見るだけでも楽しむことができます。また、

ご自宅のパソコンはもちろんのこと、スマートフォンや携帯電話でも、前述のボタンからご覧いただくことができます。フェイスブックの内容は、館内の催物や収蔵史料



の紹介などを中心に、様々な記事を掲載しています。掲載記事には、写真も多数掲載しており、催物や史料の様子がとてもよくわかります。

ぜひ一度ご覧になっていただき、講座や展示の開催に関する情報を得たり、収蔵史料の紹介を楽しんだりしていただければ幸いです。

**新たに収集した古文書**

◆前橋市富士見町・漆窪（うるくぼ）区有文書（寄託）

近世文書6点と近現代文書。群馬県史編さん室調査史料を含む。約600点。

◆群馬県・赤石幸夫氏収集文書（追加寄託）

近世文書、絵図など、約43点。  
◆前橋市駒形町・岡崎家旧蔵文書（マルモ）（追加寄贈）  
絵図1点、堅帳1冊。岡崎家は群馬県史編さん室が調査したお宅である。

◆前橋市元総社町・長尾貞治（さだじ）家文書（寄贈）

近世文書、和本、明治期から大正期の教科書。群馬県史編さん室調査史料を含む。約90点。

◆前橋市青梨子町・若宮八幡宮文書（寄託）  
安政年間の若者連名議定書2点と近現代文書約13点。群馬県史編

さん室調査史料を含む。

**新たに公開した古文書**

●前橋市大胡町・中島正文書

1584点を追加公開しました。大川家からの養子が持参した大川家の文書も含まれています。近世文書は約230点で、借金証文や田畑の譲状が多いです。村政文書以外では水戸藩主の書状や前橋城の再築、前橋藩関係の文書もあります。近現代文書は大川家が大胡町戸長などを務めていたため、廻章・布達や役場文書が多く、周辺地域に関する文書も多数あります。ほかに、天保の飢饉のときの救小屋の様子が描かれた印刷物（写真、部分）などもあります。



渡辺華山画（P08814 No.1498）

**新規公開文書展2019**

新規公開文書展2019では、当館が平成30年度に新たに閲覧公開した文書の中から、特徴ある史料33点を選んで展示しました。開催は前期・3月9日（土）～5月12日（日）、後期・5月18日（土）～7月7日（日）と分け、合わせて千人を超える観覧者がありました。

公文書からは昭和41年～同45年に作成された文書の中から5点選びました。その中の一つ、「降雹被害記録」(A0181B00 No.426)は、昭和42年、同43年の降雹による被害状況の写真記録で、傷ついた農作物が大きく写し出されています。

古文書では、①若林茂生家文書、②多加谷敏則家文書、③中村茂氏収集文書、④飯塚洋子家文書、⑤上松徹氏収集文書、⑥久米幹男氏収集文書から計28点の史料を出展しました。



この展示では、旧前橋藩士の子孫に伝来した武家文書、村方文書、絵図に加えて、主に昭和戦前期の絵はがきも多数展示しました。公文書や古文書に興味を持たれる方に加え、多くの方々に文書館の史料を知っていただくきっかけになったのではないかと思います。

なお個々の文書の概要は、文書館日より第62号等に掲載しておりますので、ご参照ください。

**新元号「令和」典拠の『万葉集』展**

新規公開文書展の一角を使って、緊急展示…「新元号令和の出典『万葉集』巻第五」を4月4日(木)～4月28日(日)に実施し、勝山家に伝来した江戸後期の『万葉集』のレプリカを展示しました。改元ブームもあり、新聞やテレビでも多数取り上げられるなど、大変好評を博しました。このため県立図書館でも4月29日(月)～5月6日(月)に特別展示を実施しました。

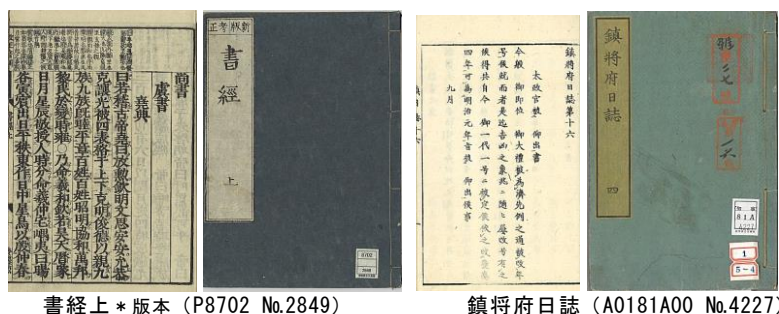
4月の展示観覧者数は、前年度比8割増となり、緊急展示の効果がいかに大きかったかがわかります。そこで、ふだん図書館に足を運ぶことがない方にも、今後もこうしたタイムリーな内容の展示を見ていただき、文書館の史料を多くの方々を知っていただきたいと思います。

**改元記念企画展示「明治・大正・昭和・平成の改元」を終えて**

前述のとおり「改元」という大きな歴史の節目に、当館では新元号「令和」の典拠となった『万葉集』巻第五の展示を行いました。

展示は多くの方々にご覧になっていただき、この様子は、延べ10社以上の新聞やテレビ、ラジオで取りあげられ、改元に対する関心の高まりが感じられました。そこで、令和の典拠史料の展示と併せ、明治以降の改元に関する当館収蔵史料の緊急展示を、4月16日(火)～4月28日(日)に行いました。

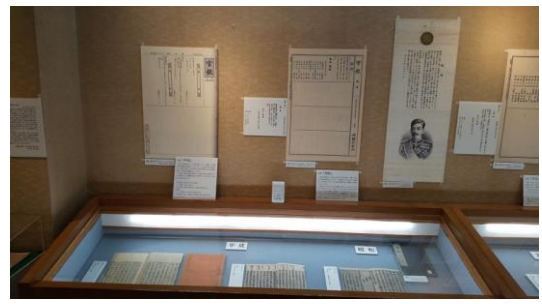
展示は、明治、大正、昭和、平成のそれぞれの典拠となった『易経』、『書経』、『史記』を中心に紹介しました。また、改元時に公布される「改元の詔書」が記載された



書経上\* 版本 (P8702 No.2849)      鎮将府日誌 (A0181A00 No.4227)

官報なども紹介しました。官報が出されていない時期の「明治」改元時の詔書の写しや、元号法に基づいた公布により詔書のない「平成」改元時の官報など、違いを見比べることができるよう配慮しました。

展示は終了しましたが、展示した全ての史料は、当館の閲覧室でご覧いただけます。ぜひ改元に関する史料を手取り、歴史の「節目」を感じていただきたいと思います。



**プレDC連携展示**

本県では令和2年に大型観光キャンペーン「群馬デスティネーション」が開催されます。本年はプレキャンペンとして、県内各地で観光素材の掘り起こしや磨き上げが行われました。文書館では、「群馬プレDC連携展示」と名付けて、5月18日(土)～6月29日(日)に、文書館が収蔵する草津、伊香保、四万、川原湯温泉を描いた絵図や絵



葉書を玄関ロビーで展示しました。どの絵図も人々が様々な装いで温泉街を行き交う様子が表現され、当時のにぎわいを感じる事ができます。また、絵葉書では久米幹男氏収集文書(寄贈)から6点、草津、伊香保、四万、湯掛曾温泉の風景の絵葉書の他に、藪塚温泉の建物や、草津の湯もみの情景の絵葉書を展示しました。湯もみの情景には、にこやかな表情で歌い、踊る人の姿が印象的に表現されています。

さらに、県立図書館と連携して、図書館が所蔵する温泉にまつわる逸話や事柄を記した近現代の郷土図書27点を閲覧室に展示しました。

開催中は、温泉地を取り上げた観光パンフレットや上毛かるたも展示して、群馬の温泉の魅力を発信しました。



**第1回出張古文書講座  
沼田市歴史資料館で開催**

8月31日(土) 13時30分より、沼田テラス内の沼田市歴史資料館で、「出張！古文書講座」を開催しました。当講座は、昨年度までの「出前なんでも講座(古文書に親しむ)」の代替事業で、第1回を沼田市歴史資料館と当館との共催で開催しました。内容は、①県立文書館の紹介、②沼田地域の当館収蔵史料をテキスト文書にした古文書入門講座、③高山正資料館長による「正保城絵図」と常設展示解説などでした。



高山館長の解説を聴く参加者

当初、定員30名で参加者を募集しましたが、募集開始2日ほどで定員を超え、当日は50名近くの方が参加

されました。アンケートには、年数回の講座開催を希望する意見も多数寄せられました。

**レファレンスより**

文書館では、史料(古文書・歴史的公文書)に親しんでいただくために利用者の方々の相談日を設けています。昨年度は、168件の相談件数があり(複数相談5件)、そのうち文字読解が79件・資料所在が49件・資料相談が22件ありました。

なお、今年度の第1四半期実績は、51件(昨年度同時期37件)となっております。

日時 第2・第4水曜日 13時～17時(開館カレンダーでご確認ください。緑色で示された日です)

\*前もって、相談の日時や内容について、電話やメールをいただければ幸いです。

**自動販売機を設置しました**

以前からご要望をいただいていた飲み物の自動販売機を当館の西側に設置しましたので、来館の際はぜひご利用ください。

なお、館内では貴重な文書を扱っていますので、中に持ち込める飲み物は、蓋が閉まるペットボトルなど、中身がこぼれる恐れのないものに限らせていただいております。また、

水分補給できる場所は、1階ロビーと2階休憩コーナーとさせていただきます。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



**刊行物の価格改定のお知らせ**

10月1日から消費税率が引上げられることに伴い、当館で販売している刊行物の価格を改定させていただきます。刊行物の新しい価格については、文書館ホームページでご確認ください。

**今後の行事予定**

★テーマ展示1「いい湯だなあゝぐんまの温泉 今・昔」

11月10日(日)まで

○展示解説会

10月27日(日)

① 10時30分 ② 11時30分

③ 15時45分 計3回。各回30

分間。無料。申し込みは不要。当日直接文書館にお越しください。

★第1回ぐんま史料講座

10月27日(日) 13時30分

15時30分

演題:「群馬の温泉めぐり」明治・大正・昭和の史料を読む

講師:群馬大学教育学部

関戸明子 教授

費用:500円(資料代)

申込期間:10月15日(火)まで

応募方法:「往復はがき」または「Eメール」。記載事項は文書館HPをご覧ください。

★テーマ展示2「上州湯めぐりの旅(仮)」

令和2年1月8日(水)～3月22日(日)

★新規公開文書展2020

令和2年4月18日(土)～7月5日(日) (予定)



★工事実施に伴う休館について

現在、当館では本館空調設備の工事を行っています。予定では、工事の終了は来年1月です。工事に伴い、休館または閲覧室の利用休止があります。

※詳細は文書館HPをご覧ください。

発行/群馬県立文書館

https://www.archives.pref.gunma.jp  
題字/岡庭征人書